

平成17年3月 登録試験

〔No.14〕 コモン・レール式高圧燃料噴射システムに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 高圧化した燃料をコモン・レールに蓄えることで、エンジンの要求に合った安定した噴射圧力を確保できるため、エンジン性能を向上できる。
- (2) 噴射時期を最適に制御することで燃料の拡散を促進し、燃焼温度が低く抑えられてNO_xの発生を低減できる。
- (3) エンジンの回転速度が規定の回転速度以上になるとパイロット噴射を止め、通常の2段噴射方式に切り替える。
- (4) 燃料の微粒化により、燃料の総表面積が大きくなり、周囲の吸入空気や熱とよく触れ合うことで良い燃焼状態となり、PM(粒子状物質)の生成を低減できる。